

平成29年 7月 3日
千葉大学医学部附属病院

千葉大学病院に7月1日「ブレストセンター」新設 ～乳がん患者さんを複数の診療科で一貫診療します～

千葉大学医学部附属病院（病院長 山本修一 千葉市中央区亥鼻1-8-1）は、7月1日、乳がん患者を一元的に診療する「ブレストセンター」を開設しました。

乳がん患者は世界的に増加の一途をたどっており、日本でも1980年ごろと比べて6倍を超えると推測され、12人に1人が乳がんと診断されています。日本の乳がん患者は、40歳代に多く、仕事や育児に忙しい年代であることから、患者さん一人ひとりのライフスタイルや社会的状況などに配慮した治療が課題となっています。

また、乳がんの治療法は近年劇的に変化し続けており、以前にも増して治療の選択は複雑化し、多方面からの患者支援が必要となっています。

当院ではこれまで、乳腺・甲状腺外科、形成・美容外科をはじめ、薬剤部など薬物療法部門、放射線・検査など診断部門、社会的支援や精神的なフォローまで行う患者支援部門など、各専門分野のエキスパートとして医師、看護師、薬剤師など多職種が乳がん患者さんに対応してきました。

新たに開設したブレストセンターでは、より質の高いチーム医療を提供するため、関連する診療科・部門の連携を強化し、主要な診療ブースを外来に集約して、カウンセリングから診断や治療、術後ケアまで一貫した診療を行います。1力所で受診できるため、患者さんの負担軽減にもつながります。

報道機関の皆さまにおかれましては、病院関係者への周知及び病院への関心喚起にご協力をいただけますと幸いです。

〔ブレストセンター長 長嶋 健より〕



大学病院には乳がん診療に関連する専門家が多数在籍しています。そのメリットを最大限に生かすことができるセンターが新設されました。乳がん診療に特化したチーム医療を推進し、大学病院ならではの質の高い最適な医療を提供したいと考えています。



※当院を受診する際には、医療機関からの紹介状が必要となります。

<取材のお申込み・お問い合わせ先>

千葉大学医学部附属病院総務課広報係 坂本・長尾・丸山

Tel: 043-226-2225 Fax: 043-224-3830 E-mail: xae6025@office.chiba-u.jp